

島根大学 支援基金だより

Vol.7
2020 Dec.



人とともに 地域とともに
国立大学法人
島根大学

学長からの挨拶

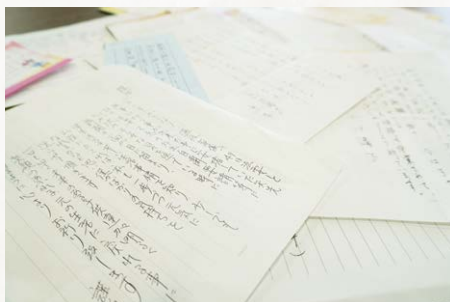
新型コロナウイルス感染症に係る 緊急学生一時金等への皆様から ご支援に心よりお礼申し上げます。

島根大学学長
はっとり やすなお
服部 泰直



島根大学では、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて生活に困窮している学生を支援するため、4月27日から島根大学支援基金として「新型コロナウイルス感染症に係る緊急学生一時金」の募金を開始しました。

その後、各種メディアに、本学の困窮する学生の状況や本一時金の取り組み等について報道をいただいたこともあり、多くの卒業生、保護者、個人一般、企業・団体等の皆様に一時金の趣旨にご理解・ご賛同いただき、激励メッセージとともに多大なご寄附を賜りました。皆様からいただきましたご寄附は、緊急学生一時金として困窮学生に継続的に支給し、困難に直面している学生への大きな励ましとなりました。皆様からのご支援とご協力に心より感謝申し上げますとともに下記のとおりご報告いたします。



寄附者の方々より多くの激励メッセージをいただきました。

本学は、今後も、学生が誰一人として不本意にも経済的な理由により学業の継続を諦めることがないように、そして未来を担うすべての学生に質の高い教育を提供できるよう、最大限の努力をしております。

なお、当初の予定どおり6月30日に本一時金への募集は終了としましたが、経済的に困窮する学生は「支援基金の使途A区分：経済的理由により修学が困難な学生に対する支援」により支援しておりますので引き続き、本学にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

「新型コロナウイルス感染症に係る緊急学生一時金」実績報告

●受入額

件数：908件 金額：36,819,442円

●学生への支援額

1回 30,000円

支給延人数：1,265人 金額：37,950,000円

※受入額と支給額との差額1,130,558円は使途A区分への冠寄附「修学支援基金」より支出

	支給月	支給延人数	支給額
第1回	5~6月 (4回に分けて支給)	418名	1,254万円
第2回	7月	293名	879万円
第3回	8月	270名	810万円
第4回	9月	284名	852万円
	合計	1,265名	3,795万円

なお、9月からは次の支援策として、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、授業料の納付が困難となり退学の危機に瀕する学生を支援するため、「新型コロナウイルス感染症に伴う特例授業料免除事業」を創設し、募集を開始しております。

感謝状贈呈

島根大学支援基金へのご寄付に対する感謝状贈呈を行いました。

本学は、令和2年10月21日、島根大学支援基金（経済的理由により修学が困難な学生に対する支援）に多額のご寄付をいただいた本学名誉教授の仁科雅良様へ感謝状の贈呈を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響により困窮する学生に少しでも役立てていただきたいとの仁科様のご意向を受け、本学では、新型コロナウイルス感染症の影響等で経済的理由により修学が困難な学生への支援に充てることとしています。



仁科雅良様(左)
島根大学基金担当理事 藤田達朗(右)

緊急学生一時金への学生からの感謝の声

一時金の給付は非常に多くの方のご好意により実現したことであり、皆様のお支えがあって私たちが学業に励むことができていることを再確認しました。このご恩を忘れることなく学業に励み、将来、私も困っている人々を助けられるような人になりたいと思いました。

親からの仕送りも無くなり、バイト先も休業となり苦しい生活をしている中でこのような形で支援して頂き本当に助かりました。今回お世話になった方々にはいつかどのような形かはわかりませんが恩返ししていきたいなと思います。本当にありがとうございました。

島根大学の卒業生、保護者、企業、地域の皆様、この度は緊急一時金のお力添え有り難うございました。皆様の支援により、私たちは大学生活を何とか続けることができています。今後は、より一層勉学に励みよりよい大学生活を送って行きたいと思っています。

温かいご支援をいただきこの苦しい状況をなんとか乗り越えていくことができそうです。そして何より学びを応援して下さる方がいらっしゃるということが分かり、学びに対する気持ちが高まりました。今後より一層勉学に励んでまいります。ありがとうございました。

今私が不自由なく医学に励むことができているのは、この給付金のおかげであり、大変感謝の気持ちで溢れています。それと同時に、いただいた皆様からの恩を忘れず私が将来医師となり働く際には何かの形で恩返しできるように、今はとにかく医学の勉強に精を入れて取り組む所存です。

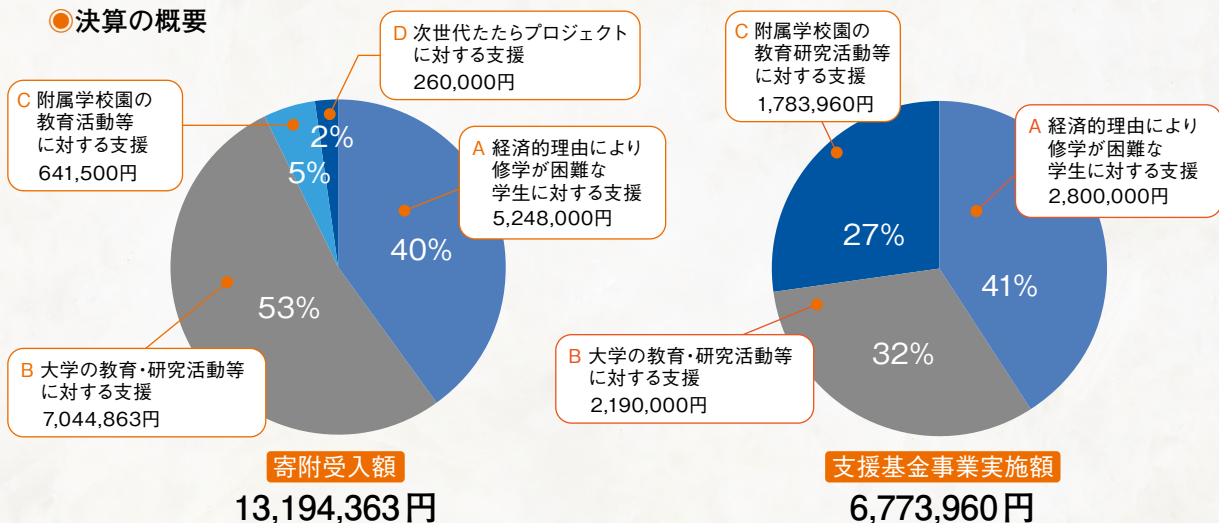
今回、バイトも十分に出来ず、親の仕事も厳しい状況下であり、給付金をいただいたことがすごく助かりました。ありがとうございました。このことでますます勉学の方をしっかりと頑張らなくてはと気も引き締められました。ほんとうにありがとうございました。

一人で島根に来ましたが、コロナの影響でバイトもできない状況に経済的な負担を感じていました。今は支援して下さった給付金と食料のおかげで、経済的な状況がとてよくなりました。応援して下さった卒業生、保護者、企業、地域の皆様に心より感謝しております。

卒業生、保護者、企業、地域の皆様、この度は多額の御寄付金本当にありがとうございました。おかげさまで生活費をまかなうことができ、精神的に安定しました。僕は将来島根県で働きたいと思っています。少しでも社会に還元できるよう勉学に励んでいきます。

令和元年度支援基金 決算報告

●決算の概要



※寄附受入額に対し、支援基金事業実施額が小さいのは、支援基金事業を安定的・継続的に実施していくため、一定額を財源として確保しているためです。

●支援基金事業実施額

事業名	事業内訳	支援人数	金額
A 経済的理由により修学が困難な学生に対する支援	夢チャレンジ奨学金	14	2,800,000円
	グローバルチャレンジ奨学金	14	1,900,000円
B 大学の教育・研究活動等に対する支援	長期インターンシップ支援金	3	90,000円
	冠)医学部医学科病理学講座奨学金	4	200,000円
	冠)株式会社日新木育基金(ツリーハウス整備)	—	999,000円
C 附属学校園の教育活動等に対する支援	附属学校園の教育環境の整備	—	784,960円
	冠)株式会社日新木育基金(ツリーハウス整備)	—	999,000円
D 次世代たたらプロジェクトに対する支援	—	—	—

より詳細な内訳等は右記のURLに掲載しております。

支援基金HP

<https://www.fund.shimane-u.ac.jp/>

